

目次

1章

五感を育てる教育で人生を豊かに

新しい教育法を考えた父	6
50年前は幼児教育の全盛期	9
五感に刺激を与えることで脳は発達する	13
日本中に音感教育が広まった！	18
音感教育とともに育った私	23
なぜ、子育ての悩みにこたえるようになったのか	26
視力検査は問題なくても見え方が違う子がいる	32
返事をしない子の問題は耳より発達の遅れ	35
料理の手伝いで味覚と嗅覚を育てる	38
スキンシップを大切に！！	41
発達障害児支援士の資格を取る	45

2章

知識を入力する「言葉」を育てる

言葉は聞くことで脳裏に蓄積され話せるようになる	50
なぜ、言葉が大切なのか？	56
日本語を大切にしてほしい！	59
絵カードで言葉を増やして絵本を読もう！	63
同じ話を何度も聞きたがるときに道理を教える	66
幼児音は舌の手術より使うことでなおしたい	69
大人が話を聞かなければ、子どもも言うことを聞けない	72
歌を歌うためには正しい言葉の発音を！	75

3章

知識を出力する「運動能力」を育てる

赤ちゃん時代から体を動かす練習を！	78
なぜ、小学校受験でクマ歩き？	83
子どもから手先や体を使う機会を奪わないで	87
運動ができないと音楽のリズムは刻めない	94

4章

人間らしく生きる「社会性」を育てる

境界線が教えられない現代の子育て	100
学力以上に大切なのは社会的な体験	103
苦手なこともできるように	107
自己肯定感は平等からは生まれない	112
障害があっても伸ばせることは伸ばす	116

あとがき 人生100年時代を幸せに生きる 122

参考文献 126